

# 論文・学会発表・院内研修 記録集

## 「人にやさしく」

2008（平成20）年度版

この記録集は、院内研修用に作成したものです。  
個人情報保護、及び著作権により院外持出禁止

発行日 2010年(平成22年)5月1日

〒596-0825 岸和田市土生町77番地

医療法人 聖志会 渡辺病院

発刊に際して

医療法人 聖志会 渡辺病院  
理事長・院長 渡辺浩年

このたび、医療法人聖志会渡辺病院の論文・学会発表・院内研修記録集を発刊することとなりました。

思い返せば、私が渡辺病院の院長に就任したころから、看護部の有志を中心として勉強会が開かれていました。

6年前、ISO9001品質マネジメントシステムを取り入れ、院内研修は有志の勉強会ではなく、病院全体で計画的に実施することになりました。その後、職員が看護・介護の学会に積極的に参加・発表するようになりました。

また、専門性のスキルアップを目指し、「日本認知症ケア学会」の「認知症ケア専門士」に挑戦・取得することを病院あげて支援することにいたしました。現在では、看護部のみならず、医師・理学療法士・作業療法士・薬剤師などを含む各部署から、64名もの職員が「認知症ケア専門士」資格を取得するまでになりました。（一つの施設における資格取得者数は全国一）

おかげさまで、院内研修の回数も増え（月10回程度）、発表もパワーポイントを使い、より分かりやすいものとなり、毎回その発表内容には感心させられております。

「渡辺病院認知症ケア懇話会」では、日本認知症ケア学会の認知症ケア専門士単位認定事業として、院外の皆様にもご参加いただいております。

その他にも、以前から、外部研修の一環として毎年数名の職員をオーストラリアでの病院研修に派遣し、国外の看護・介護にも接してもらっています。

かねてからの私の思いを総務課に伝えると、数年前から発表資料をパソコンで管理しているので、DVDでの記録集発刊なら比較的容易にできるとのことで、今回の発刊に至りました。私自身も職員の研修発表現場にほとんど出席しており、そのときの情景がよみがえり作成してよかったと思っております。この資料により、当院職員の創意工夫や看護・介護に対する熱意を感じ取っていただけたら幸いです。

2010（平成22）年5月1日

発刊に際して

医療法人 聖志会 渡辺病院  
診療部長 鬼頭 ひろ志

私が医療法人聖志会の泉州病院に精神科常勤医師として勤務して早5年間あまりが経過し、この間、理事長である渡辺浩年先生の強力なリーダーシップの下に、平成17年4月に認知症治療専門病院への転換（泉州病院から渡辺第二病院への名称変更）、平成20年4月に渡辺病院（内科）、渡辺第二病院（精神科）の統合と、振り返ってみれば、あっという間に過ぎ去ったようにも思われます。

認知症疾患の治療・看護・介護に関しては、元々泉州病院時代から認知症疾患治療病棟が2病棟あったとはいえ、日本全体で見ても、認知症疾患治療を専門としている病院はほとんどなく、BPSDに対する薬物療法、身体合併症の治療、認知症看護・介護など、すべてが手探りの試行錯誤の状態でした。

それでもこの間、渡辺理事長の経営方針によりISOを導入し、認知症看護認定看護師を中心に、医局、看護、介護スタッフなどが協力して、日常の職員のスキルアップ研修や全体研修、認知症ケア専門士やオムツフィッターの養成、認知症ケア懇話会の定期的な開催、認知症関連学会での発表など教育研究分野にも力を入れ、職員全体の知識・技術の向上をめざしてきました。

この度、このような日常的な経験の積み重ねや発表を、記録集としてまとめることとなりましたが、これまで治療・看護・介護など各分野においてお世話になりました皆様方に感謝し、この業績集が、我が国で今後30年後には倍増すると言われていた認知症患者さんの治療や看護・介護の進歩、発展のために少しでも役立つことを願い、この「論文・学会発表・院内研修記録集」の発刊のご挨拶とさせていただきます。

2010（平成22）年5月1日

発刊に際して

看護部長 田中 シヅ子

H20年4月、医療法人聖志会が運営する泉州病院と渡辺病院が統合し、認知症病棟、療養型医療病棟、介護病棟を合わせると全10病棟・534床を有する病院となりました。

現在私たち看護部は、病院理念の「人にやさしく」をモットーに患者様のニーズを十分に組み入れた質の高い看護、介護を提供できるように取り組んでいるところです。

それというのも約10年前に、一人の医師から「看護部は少々勉強不足では？」とのアドバイスを頂きました。そこで私たちは、高齢者医療が大きく変わろうとしている中で、地域の皆様に選んで頂ける病院になるにはどうすることが良いのかを改めて考えなおし、患者様に満足して頂けるよう、サービスの向上に看護師、介護士が業務の中で何を改善し、いかなる対策をとるべきかを検討しました。

大切な患者様の看護経過を症例発表することが、職員間の情報交換や個々の職員のスキルアップに反映するのではないかと思い、年間計画を立てて週に1回、30分程度の発表をすべての病棟からしてもらいました。また、3年前からは認知症ケアに重点を置き、診断・治療に関しては医局に講師をお願いし、また看護に関しては認知症看護認定看護師を中心に各病棟からの症例発表を、院内研修という形で月に10回程度実施してきました。

その結果、認知症ケア専門士64名、オムツフitter3級50名と資格取得者も増え、日本認知症ケア学会、日本精神科看護技術協会、日本老年看護学会等でも論文発表ができるようになり、全体的に個々の職員のスキルも向上してきたのではないかと考えております。

今回、この数年間の実績を整理することとなりましたので、改めて過去を振り返り、更に新しい展開へと成長していければと思っております。また皆様にとって一部興味深い資料も含まれているのではと思ひ、一度ご覧くださればありがたく思います。今後も継続してスキルアップに努め、地域の皆様に選んで頂ける病院を目指し努力して参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2010年(平成22年)5月1日

発刊に際して

教育担当看護師長・認知症看護認定看護師

仲 由紀子

私は、認知症看護認定看護師として、「実践」「教育」「相談」の活動を施設、および地域で少しずつ進めてまいりました。

1年前より看護部の教育担当者として、「新人研修」から始めていくために、看護部長をはじめ周囲の協力を得て、評価ができるところまで到達することが出来ました。そして、昨年より私たちが専門としている認知症医療のスキルアップを図るため、新たなサポートチームを結成しました。認知症ケア専門士を中心とした「認知症ケアサポートチーム」です。病棟では様々な症例があり、手さぐり状態の認知症ケアには認知症分野に十分な知識を持ったスタッフの支援が必要と考えます。病棟単位で「リンクナース」としての活動、院内研修における講座を主とした活動をしております。また、認知症ケア専門士の資格を取得したいと希望するスタッフのために「受験対策講座」も始めました。専門性のあるスタッフを育て、個人のモチベーションを維持していきたいと考えています。

スキルアップの目的は、「自信」「出会い」「気付き」「充実感」といったものを手に入れることで、目の前に広がる世界が変わってくるのだと思います。しかし、現在の方法が、すべてのスタッフの自信やき気づきにつながっているとは言えません。研修の参加が少ないスタッフもいます。その原因を考えると、一方的な、いわゆる「聴いているだけ研修」だからではないかと私は考えます。演習や実習を取り入れた研修では、「わかりやすかった」という声が多く聞かれました。現場で働く私たちは、わかりやすく実際に自分で感じとれることが必要なのです。今後はスタッフの要望にそった研修をプラスしていく予定です。

2010年(平成22年)5月1日

## 医療法人 聖志会 渡辺病院の概要

〈 資料 2010年 4月 〉

開設者	医療法人聖志会
法人設立	1958(昭和33)年10月10日
病院開設	1965(昭和40)年 5月21日
代表者	理事長 渡辺浩年
管理者	院長 渡辺浩年
所在地	大阪府岸和田市土生町77番地
TEL	072-426-3456
FAX	072-426-7474
ホームページ	<a href="http://www.seishikai.or.jp">www.seishikai.or.jp</a>
診療科目	精神科・内科・皮膚科・泌尿器科・眼科 心療内科・神経科・リハビリテーション科・歯科
病床数	精神336床、療養198床(内、介護104床)計534床
延べ建築面積	19,938㎡
沿革	
1958(昭和33)年10月	「医療法人聖歯会」設立
1964(昭和39)年 8月	「医療法人聖志会」に改称
1965(昭和40)年 5月	「医療法人聖志会泉州病院」開設 106床 アルコール依存症、一般精神疾患の治療を開始
1976(昭和51)年11月	336床に増床 アルコール依存症、一般精神疾患に加えて 認知症の治療を開始
1980(昭和55)年11月	旧「医療法人聖志会渡辺病院」設立 198床
1986(昭和61)年 4月	C棟新築(167床)
1994(平成 6)年12月	精神科作業療法施設認可
1999(平成11)年 4月	D棟新築(169床)
2004(平成16)年12月	ISO9001:2000 認証を取得
2005(平成17)年 4月	「泉州病院」を「医療法人聖志会渡辺第二病院」に改称 認知症の治療に特化
2006(平成18)年 2月	理事長渡辺浩年が「渡辺第二病院」の院長を兼務
2008(平成20)年 4月	旧「渡辺病院」と「渡辺第二病院」を統合し 現「医療法人聖志会渡辺病院」設立 534床 合併症の対応等認知症の治療体制を強化
2010(平成22)年 4月	「人にやさしく」を医療理念とし 60余名の「認知症ケア専門士」を配して 新たな認知症医療を展開中

## 《 論文発表 》

期間 2008/4/1～2009/3/31

作成(発表)日	テーマ	作者(敬称略)	発表場所または掲載誌等
2008/7/19	認知症の終末期の対応とインフォームドコンセント	内藤丈詞	第3回認知症ケア学会懇話会
2008/7/19	認知症の人のターミナルケア～グリーンケアの一環としてのエンゼルケア	西村裕子	第3回認知症ケア学会懇話会
2008/9/19	BPSDを摂食意欲ととらえて胃瘻の離脱に成功した重度認知症の事例	高橋紀江	日本精神科看護協会
2008/9/19	歌唱行為によって摂食・嚥下障害が改善したアルコール性認知症の事例	太田陽子、池角真紀子	日本精神科看護協会
2008/9/24	食べる楽しみを支援することによって認知症高齢者の終末期の尊厳を保てた一例	米林美由子	第9回認知症ケア学会
2008/9/24	体位の維持が困難な重度認知症高齢者における食事介助の工夫による事例報告	喜多ひろみ	第9回認知症ケア学会
2008/9/24	体位の維持が困難な重度認知症高齢者における食事介助の工夫による事例報告	喜多ひろみ	第9回認知症ケア学会
2008/11/15	入院中に疥癬を発症した認知症高齢者の一例	竹中なおみ	第4回渡辺病院ケア懇話会
2008/11/15	入院中に疥癬を発症した認知症高齢者の一例	竹中なおみ	第4回渡辺病院ケア懇話会
2009/3/14	知的活動からみた認知症予防	稲山靖弘	第5回渡辺病院ケア懇話会
2009/3/14	当院における認知症予防プログラムの実際	西幸宏	第5回渡辺病院ケア懇話会

《 院内研修 》

期間 H2008/4/1～2009/3/31

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2008/4/1	疥癬の感染対策について	B2 病棟	B2	
2008/4/3	認知症のやさしい知識その①	稲山靖弘	診療部	
2008/4/11	AED講習会	外部講師	外部	日本光電
2008/4/15	救急	守田敏子	看護部	
2008/4/16	接遇マナーについて	奥野ますみ	看護部	全体研修会
2008/4/18	モニターの安全な使い方	外部講師	外部	日本光電
2008/4/24	認知症のやさしい知識その②	稲山靖弘	診療部	
2008/4/25	認知症看護基礎①	仲由紀子	看護部	
2008/4/30	認知症のやさしい知識その③	稲山靖弘	診療部	
2008/5/2	トイレ誘導について	秋本真由美 ・瀬良好美・ 宮原亜耶	D2	
2008/5/7	認知症看護基礎②	仲由紀子	看護部	
2008/5/13	排泄の援助	A3 病棟	A3	
2008/5/14	ISOについて④	竹下武	事務部	
2008/5/20	行動制限・人権擁護	若松厚志	看護部	全体研修
2008/5/20	人権研修会・給与調節について	大塚悟美	事務部	全体研修
2008/5/21	認知症のやさしい知識その④	稲山靖弘	診療部	
2008/5/23	喫煙の治療	外部講師	外部	ファイザー(株)
2008/5/27	医療安全	鎌田和美	看護部	
2008/5/28	認知症看護基礎①	仲由紀子	看護部	
2008/6/5	認知症のやさしい知識その⑤	稲山靖弘	診療部	
2008/6/10	オムツフィッター	善野佐和子 田淵玲子・ 権藤由貴江 秋本真由美 大崎松代・ 武田起代子 里幸子・南・	看護部	
2008/6/11	褥瘡	若野司	診療部	全体研修会
2008/6/11	脳リハについて	稲山靖弘	診療部	全体研修会
2008/6/11	新人研修	仲由紀子	看護部	
2008/6/17	認知症看護基礎②	仲由紀子	看護部	

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2008/6/18	ISOについて①	竹下武	事務部	
2008/6/19	認知症のやさしい知識その⑥	稲山靖弘	診療部	
2008/6/24	認知症病棟でのNST活動	栗林美貴子	診療部	
2008/6/25	認知症のやさしい知識その⑦	稲山靖弘	診療部	
2008/7/1	認知症看護基礎③	仲由紀子	看護部	
2008/7/4	ISOについて②-4	竹下武	事務部	
2008/7/9	ピック病の症例	山下順子	C3	
2008/7/11	嚥下 2	栗林美貴子	診療部	
2008/7/15	防災訓練について	竹下武	事務部	全体研修会
2008/7/17	グリーンケアの一環としての死後のケア	西村裕子	看護部	
2008/7/18	認知症のやさしい知識その⑧	稲山靖弘	診療部	西・仲
2008/7/22	オムツについて	介護士	A3	
2008/7/31	認知症のやさしい知識その⑨	稲山靖弘	診療部	
2008/8/19	病院を守るために(接遇)	渡辺浩年	診療部	全体研修会
2008/8/19	業務手順書の改定内容 特に病棟に関する業務について	香月正憲	診療部	全体研修会
2008/8/19	腰痛予防	介護士	B2	
2008/8/21	認知症のやさしい知識その⑩	稲山靖弘	診療部	
2008/9/2	BPSD を摂食意欲ととらえて胃瘻の離脱に成功した重度認知症の事例	大松晶子・高橋紀江	看護部	
2008/9/2	歌唱によって嚥下障害が改善したアルコール性認知症の一例	太田陽子・池角真紀子	看護部	
2008/9/5	ISOについて③	竹下武	事務部	
2008/9/9	食べる楽しみを支援することによって認知症高齢者の終末期の尊厳を保てた一例	米林美由子	看護部	
2008/9/9	体位の維持が困難な重度認知症高齢者における食事介助の工夫による事例報告	喜多ひろみ	看護部	
2008/9/10	ISOについて④-2	竹下武	事務部	
2008/9/11	認知症のやさしい知識その⑫	稲山靖弘	診療部	
2008/9/16	体位変換	介護士	A2	
2008/9/19	認知症のやさしい知識その⑬	稲山靖弘	診療部	
2008/9/24	医療監視について	鬼頭ひろ志	診療部	全体研修会
2008/10/1	認知症のやさしい知識その⑭	稲山靖弘	診療部	

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2008/10/3	認知症看護基礎③ 認知症の人の環境調整(PEAP理論)	仲由紀子	看護部	
2008/10/7	患者様へ対応の工夫	武田起代子	D1	
2008/10/14	高齢者虐待とは	貴堂明美	看護部	
2008/10/15	インフルエンザについて	内藤丈詞	診療部	全体研修会
2008/10/17	認知症看護基礎④	仲由紀子	看護部	
2008/10/21	入浴介助にオーレツチャーを利用	介護士	B3	
2008/10/27	居宅介護支援事業所について	村田智恵	事務部	
2008/10/29	認知症のやさしい知識その⑮	稲山靖弘	診療部	
2008/10/30	認知症のやさしい知識その⑯	稲山靖弘	診療部	
2008/11/4	通所リハビリについて	山内一広	広報医療福祉部	
2008/11/5	認知症のやさしい知識その⑰	稲山靖弘	診療部	
2008/11/11	認知症看護基礎⑤ 薬物療法	香月正憲・猪井直樹	診療部	
2008/11/18	接遇について	外部講師	外部	公益社
2008/11/20	認知症のやさしい知識その⑱	稲山靖弘	診療部	
2008/11/28	認知症のやさしい知識その⑲	稲山靖弘	診療部	
2008/12/9	ストマーについて	神田若菜	D3	
2008/12/11	胃瘻について	外部講師	外部	(株)メディコン
2008/12/11	防災訓練・防災意識を高めるための、防災教育	竹下武	事務部	全体研修会
2008/12/17	認知症のやさしい知識 その 20	稲山靖弘	診療部	
2008/12/18	認知症看護基礎⑥アセスメント 2	仲由紀子	看護部	
2009/1/14	オーストラリア研修	藤原央子・樋口かおり・神田若菜・椎名美奈子・高橋紀江	看護部	
2009/1/20	ノロウイルス 2	内藤丈詞	診療部	
2009/1/20	今後の方針 H21	渡辺浩年	診療部	
2009/1/21	高齢者のスキンケア	外部講師	外部	花王
2009/1/27	身体拘束廃止	山野泉	看護部	
2009/1/28	認知症の実演	西幸宏	診療部	
2009/1/29	認知症のやさしい知識 その 21	稲山靖弘	診療部	
2009/1/30	認知症のやさしい知識 その 22	稲山靖弘	診療部	

作成(発表)日	テーマ	作者 (敬称略)	部署	備考
2009/2/4	入浴介助	介護士長	看護部	
2009/2/5	退職金制度	大塚悟美	事務部	
2009/2/12	急変時看護	東野道子	看護部	
2009/2/17	褥瘡について	若野司	診療部	全体研修会
2009/2/20	認知症のやさしい知識その 23	稲山靖弘	診療部	
2009/2/24	エンゼルケア	山本具美	看護部	
2009/2/26	認知症看護⑦せん妄	仲由紀子	看護部	
2009/3/10	PEGケア	北井彩・ 川崎篤子・ 山本具美・ 上嶋利恵	看護部	
2009/3/12	認知症の予防について	稲山靖弘	診療部	
2009/3/17	ECO(省エネ)について	外部講師	外部	関西電力株式会社
2009/3/24	腰痛予防	岸本芳・ 得能幹生	診療部	
2009/3/31	センター方式について	正田奈穂・ 北庄司奈津	看護部	

医療理念 「人にやさしく」

- 品質方針
1. 医療及び介護サービスの提供を通して、社会に貢献する。
  2. 常に患者様の立場を考え、信頼に応えるサービスを提供する。

\* \* \* \* \* 編集後記 \* \* \* \* \*

「業績集を作成しよう」という話が出てきた時には、どれだけの資料を探さなければならぬのだろうかと不安がよぎりました。何とかパワーポイントのファイルを見つけてクリックしたら、そこからパソコンが動かないという現象も度々起こり大変苦労しました。

だんだんと資料が集まり形になってくると、ようやく私にも余裕が出てきました。それと同時に、当院の職員がこんなに多くの研究発表をされたものだと感心させられました。貴重な時間を費やして研究発表をされた皆様、本当にご苦労さまでした。皆様の発表によって今回の記録集ができましたことを感謝申し上げます。

今後とも、よりよい医療を目指して頑張りましょう。

看護総務課長 若松 厚志